

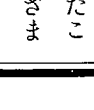
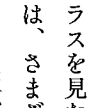
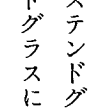
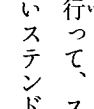
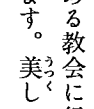
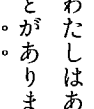
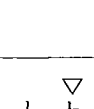
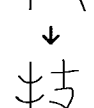
技

五年

回数 7
筆順 オシ
クシ

オシ
クシ
わざ

成り立ち



「支配（コントロールすること）」という意味の「支」と「ギ」とを組み合わせて作った字です。

「物事をよくコントロールできる手」という意味を表した字です。「手わざ」がすぐれている「こと」です。「うでまえ」ということです。単に「わざ」とも言います。

使い方

▽ぼくはスポーツの競技を見るのが好きです。サッカー・体操・バレーボールなど、どの競技をとっても選手の手一杯の技が、見る者を興奮させます。一流選手の技は、本当にすばらしくて、目が離せません。

▽わたしはある教会に行つて、ステンドグラスを見たことがありません。美しいステンドグラスには、さまざまな技巧がこらされていて、うつとりするほど見事でした。神様をたたえるために、ガラス職人が、心を込めて作ったのだと思うと、厳肅な気持ちになりました。

熟語例

▽競技（技を競うこと。とくに、スポーツの技を競うための試合を言います。）

▽妙技（非常にすぐれた技）

▽技巧（芸術などで、工夫をこらした技。テクニク）

▽技術（物事を行う技。「うちのおうさんの運転技術は、大したものですよ」などというふうに、つかいます。また、とくに、科学を応用して、生活に役立てる技のことを言います。「技術者」といえば、科学の知識を利用して、仕事をする人を言います。）

五年

六八二

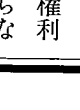
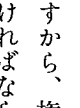
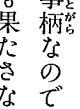
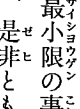
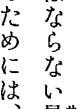
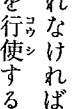
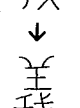
義

五年

回数 13
筆順 オシ
クシ

オシ
クシ
ギ

成り立ち



「善」や「美」の意味を表した「羊（年343）」と、「我（年843）」を組み合わせて作った字です。

「我（自分）を美しく善い人にする道」という意味の字です。人として守るべき「正義の道」を表したものです。例 正義、道義、義理、義務。

「言葉の「正しい意味」という意味にも使います。例 語義、定義、意義。

また、「義父（義理の父の意味）」という使い方から「義足（ほんとうの足でない足の意味）」という使い方も生まれました。

使い方

▽人間には権利とともに義務があります。権利を得るためには、まず義務を果たすことが必要です。権利ばかり主張して義務を果たすのをおろそかにする人がいますが、それは間違いです。義務は、人間として当然行わなければならない最小限の事柄なのですから、権利を行使するためには、是非とも果たさなければならぬのです。

熟語例

▽正義（正しく、道理にかなつたこと。）

▽道義（人間として行わなければならない正しい道）

▽義理（人間として行わなければならない道、という意味から、「いやだけれども、つきあいなどの上で、どうしてもしなければならぬこと」の意味で、つかわれるようになります。また、かわりないけれども、縁を結んだために、「一族になった人のこと」「義理の親」「義理の兄」などと言います。）

▽義務（道徳や法律の上で、人間として、しなくてはならないこと。）

五年

六八三